

令和7年度 第9回教育委員会会議録

日 時 令和7年12月22日（月） 10時00分～10時48分

場 所 教育委員会 3階会議室

議 題

報告事項

- （1）平和学習のまとめについて
- （2）中央公民館 クリスマスコンサートについて
- （3）第4回尾鷲市二十歳のつどいについて
- （4）令和7年度尾鷲市PTA連合会 防災体育大会について

出席者

教育長	田中 利保
委員（教育長職務代理者）	内山 善嗣
委員	北裏 佳代
委員	米倉 すが
委員	榎本 加奈子

出席事務局職員

教育総務課長	柳田 幸嗣
教育総務課調整監	渡邊 史次
生涯学習課長	世古 基次

教育総務課主幹兼総務係長	柳瀬 誠
--------------	------

10時00分 開会

教育長：おはようございます。今回は私が主催する最後の教育委員会になりました。今日の中身もたくさんあるんですが、まずは皆さんにお礼を言いたいと思います。ありがとうございました。私らしい教育長として何かできないかと思いましたが、行政経験もなく、子どもと一緒に現役時代やってきたので、それを出しながら思いながらも、なかなか浸透しにくいというジレンマを抱えながらやってきましたが、3年経ってみると少しずつ自分らしさを出せたのかなと思います。私が直接子どもたちのところへ行くことはないので、校長さんは本当によく相談などで訪ねてくれました。子どもたちを大事にする姿勢を管理職にもしっかりやってほしいと思っていました。反省ばかりでしたが、教育委員の皆さんにはよくしてもらって、いい教育委員会が開けたのかなと思います。肝心要がこの教育委員会ですから、私たちが尾鷲の教育を引っ張っていかないといけないし、退任してからも何らかの形で教育に関わっていくつもりなので、また一緒になることもあると思いますが、子どもたちのために頑張っていくしますので、委員の皆さんも次の教育長と力を合わせて、ぜひ尾鷲の教育が一步でも二歩でも前進するよう、これからもよろしくお願いします。前回会議録署名委員はA委員とB委員でした。今回会議録署名委員はB委員とC委員ということで、お願いします。議事に入る前に、共育フェスティバルのことを少しお話しさせてもらいます。今回、11月28日に委員の皆さんにも参加してもらって見てもらいましたが、私も就任当時思っていたんですが、すごく学校側がこのフェスティバルに対して閉塞感を感じています。何らかの変化を求めているということが日増しに高くなってきていて、10年も経ってくるとどうしても内容がマンネリ化してきて、小さい学校だと発表内容を考えるだけでも苦しいということもあり、何らかの変化を持たさないといけないということで、実行委員会を組織し、各学校から代表として出してもらって、次からのフェスティバルを考えていこうということで、今回のような形式になりました。尾鷲の魅力を伝える場という位置づけもして、今回は市役所若手職員の青鷲会に協力してもらいました。尾鷲出身で活躍している人もいるし、尾鷲の現場の中で活躍している人やずっと地道に仕事をしている人もいますので、そんな人たちを招いて話を聴くことも大事になってきます。今回、1学級だけ学級閉鎖になってしまいましたが、

尾鷲小学校1、2年生も入って、全校・全学年が参加することになりました。1・2年生が騒いでしまうんじゃないかという危惧もありましたが、いざ始まるとみんな静かに聴いていて、感動しました。800人くらいの子どもが司会者の声で一斉に聞く体制を取れるということは素晴らしいことだと思いました。小学生の時に人の話を聴く態度を教えることは大事だということがありますから、今回のこの取組は大成功だったと思います。青鷺会の職員2人が、市役所の仕事の話と合わせて、どのように尾鷲のことを思い、どのように発展させていくかということを発表してくれました。各学校での振り返り、新しい発見があったという話も出ていたそうなので、これも良かった点だと思います。賀田小学校が一輪車を発表し、オープニングの入場は素晴らしかったと思います。以前から賀田小学校と向井小学校は一輪車に特化して頑張ってます。今年は賀田小学校に日本チャンピオンの選手も指導に来てくれて、子どもたちの刺激になったようです。ロータリークラブから新しい一輪車を寄贈してもらって、その発表をせぎやまホールですするという取組もできましたし、運動会が5月なので、1年生があまり練習できていない中での演技なので、少し上達した秋にもう一度発表会ができたこともよかったのかなと思います。それと、トチの実学習の発表もあり、賀田の食文化を継承していくということで、地元の人たちが残してきたことを学習していくということが大事かなと思います。これを尾鷲の人が「賀田のこと」と言うのは絶対にやめてほしいと思います。賀田も尾鷲の一部ですから、賀田の財産ではなく、尾鷲の財産という位置で考えてほしいなと思います。そうすると、九鬼の鰯や、梶賀のあぶりなんかも尾鷲の財産として守り育てていきたいという意識を、子どものときから捉えてほしいということを挨拶の最後に言わせてもらいました。尾鷲育を含めて「ふるさと学習」をやっていますが、それが発展して、賀田もふるさと、天満もふるさとといった意識を持つてもらえればありがたいなと思いました。そういうことを来期に向けて知恵を出し合い、子どもたちの発表の場とふるさと尾鷲に愛着を持つこと、尾鷲市の小中学校全校が集まって、いろんな事ができるようにしていきたいという思いを込めて、今回やらせてもらいました。フェスティバルについては以上になります。では、事項書4の教育長報告に入ります。

【主な教育長報告】

11月18日（火）へき地複式教育 県教委との懇談会

1 1月19日（水）県研修次長来庁
1 1月20日（木）ユニカール表敬訪問（市長室）
1 1月21日（金）Jアラート訓練（尾鷲中学校）
1 1月21日（金）尾鷲小学校研究発表会
1 1月25日（火）教頭会
1 1月26日（水）定例記者会見
1 1月26日（水）民生委員退任式・親睦会
1 1月27日（木）贈呈式（丸昇HD・ソフトボール少年団）
1 1月27日（木）四者協議会
1 1月28日（金）おわせっこ共育フェスティバル
1 1月28日（金）尾鷲地区教育長会議
1 1月30日（日）社会福祉大会
1 2月 1日（月）尾鷲地区校長会
1 2月 2日（火）第4回定例会開会
1 2月 2日（火）第1回尾鷲市総合計画審議会
1 2月 5日（金）賀田小学校餅つき大会
1 2月 6日（土）少年の主張
1 2月10日（水）一般質問（西川議員、佐々木議員）
1 2月11日（木）行政常任委員会
1 2月13日（土）輪内中学校文化祭
1 2月14日（日）子育てハッピーデー

HAPPYワーク i nにゃんにゃん王国

1 2月15日（月）尾鷲中学校1年生合唱発表会
1 2月16日（火）第8回校長会
1 2月17日（水）第4回定例会閉会
1 2月17日（水）子どもの読書活動推進計画策定委員会
1 2月18日（木）尾鷲市スポーツ協会選手表彰

教育長報告は以上です。教育長報告について何かございますか。なければ、事項書5の報告事項に入ります。報告事項（1）の平和学習のまとめについてお願いします。別冊資料の事業報告書を見てください。戦後80年を迎えてということで、戦場へ行かなければ戦争は理解できないということでは平和学習の意味はないと。戦争はしていないが、想像して戦争はよくないということをしつかりと子どもたちに教えていかないといけないということを感じ、戦後80年ということで世間でも取り上げてくれると思っていたら、想定以上にこの1年、戦後80年についての取組が各地でありました。特に

新聞の投稿欄をよく読むんですが、当時、両親が亡くなって生き残った5歳や6歳の子どもが親戚でもたらい回しにされたというのをよく聞いたんですが、親戚から「お前も一緒に死んでくれたらよかったのに」と言われたそうですね。亡くなった人も辛いですが、生き残った子どもも辛かっただろうなという思いを校長さんらにもわかってもらって、ぜひ取り組んでほしいと言いました。もちろん、学校では毎年平和学習をしています、今年は少し強化してほしいというお願いをしました。現代の課題は子どもたちもよく知っていました。ウクライナ情勢とか台湾有事での日本の立場なども中学生なら知っていてほしいと思います。平和を維持していくのはやはり難しいことなので、それを少しでも今の子どもたちにわかってもらって、平和を大事にしていくということに取り組んでほしいということですね。本年度の成果は各学校で地域の特性や児童生徒の発達段階に合わせて例年以上に工夫を凝らした学習を展開してくれたということで、各学校からまとめをいただきました。今年一つ輪内中学校に無理を言ってお願いし、尾鷲市戦没者追悼式で沖縄戦を基にした平和学習の作文を発表してくれました。私は参加できなかったんですが、とてもいい雰囲気であったと聞いています。次世代への願いが出たんじゃないかと言ってくれた人もいるので、ぜひ来年も続けていけたらなと思います。各学校でこのような取組をしていて、他の学校のことを知るためにも、このようなまとめもいるのかなと思いました。アンケート結果を見てください。「今世界は平和だと思いますか。」という問いに対し、小中とも平和ではないという回答の割合が多かったです。次に「今日本は平和だと思いますか。」という問いに対し、中学生91人中13人は平和ではない、残りの78人は平和であるとの回答でした。小学生は81人中44人、つまり半分以上が平和ではないという回答でした。戦争状態ではないので、平和であると答えるのかなと思いましたが、小学生が平和ではないと感じる理由が次になります。戦争はないけど、犯罪やいじめがあるから平和ではない。平和というのを大きく捉えてくれているのか深く捉えてくれているのかという点で、日本は戦争をしないというだけで、身の回りで起きている喧嘩や暴言など、戦争に近い感情になると感じるといった意見や、国と戦争はしていないけど、見えないところで苦しんでいる人がいるから日本はまだ平和ではないという意見、社会問題としての視点で、北方領土、竹島、尖閣諸島の領土問題が存在しているから平和ではないといった意見がありました。考察

のところに書いてありますが、小学生は戦争がないことイコール平和とだけは捉えていなくて、日常の安心・安全や見えない苦しみなどを想像して、平和の本質的なところを、半数の子どもたちが書いているということは、まあまあ大事なことなのかなと思いました。今回のアンケートの中で、細かい部分をここに載せていますし、尾鷲中学校や賀田小学校あたりは作文も添えていますので、また読んでおいてくれたらと思います。私からは以上です。では、次に報告事項（２）以降について、生涯学習課のほうからお願いします。

事務局：以降の報告事項ですが、全て生涯学習課のものでありますので、続けて説明させていただきたいと思います。資料１をご覧ください。中央公民館の定番のクリスマスコンサートで、人気のコンサートでございます。毎年１５０名程度のお客さんを募集しまして、先週末の１９日時点で１１５名の方が参加したいとのことでチケットを渡しております。まだ残りがございますので、ぜひご参加いただければと思います。６時半開場、７時開演で、ご覧の演奏者の皆さんで演奏を行います。以上です。続きまして資料２、第４回二十歳のつどいになります。今年も基本的な式の流れは変わらないんですが、１６名の実行委員の方から話を聴き、新成人の対象者１３５名のうち参加表明しているのが１０３名で、昨年同様１００名前後の参加者ということで、今年は舞台上で全員で記念撮影をしたいという意向がありました。そのため開始時間を３０分前倒しして１０時からの開始としています。撮った写真はＱＲコードで参加者の方にダウンロードしていただくよう配布を考えています。ちなみに、資料のうち５の激励の言葉については、三重県議会議員の方を予定していますが、まだ確定はしておりません。以上です。次に資料３、令和７年度尾鷲市ＰＴＡ連合会体育大会で、今回は防災体育大会を開催します。１月１７日（土）９時から、くろしお学園体育館ということで、こちらは市Ｐ連の各会長さんとお話の中でこれまでのＰＴＡ大会を振り返り、毎回スポーツ的なものと講演会的なものを２回する必要があるのかということや、参加・準備の負担もありますし、動員を行うことも負担になっている中で、皆さんにご協議いただき、やるんだったら自分たちも参加したくなるような内容にしたいとのことで、防災関係のイベントにして家族で参加できるものにすれば、どんどん内容を蓄積していけていいのではないかと案が出ましたので、このような形で初めて開催することになります。内容次第かと思いますが、ひょっとしたら今後新たに定番化することができるかもしれ

ませんし、例えば1年生から6年生まで参加いただいたとかになりますと家庭にも蓄積されていく内容になりますので、すこし楽しみだなと考えております。こちらは以上です。今回、追加で配布させていただいた資料が2点ございまして、1つは先日新聞報道等されたばかりではございますが、八鬼山荒神堂跡及び茶屋跡、こちらが国の文化財の史跡に追加されるという答申が国の専門機関から19日に発表されました。資料を1枚おめくりいただきまして、写真と絵図がありますが、この絵図が江戸期に出版されていた旅のガイドブックのようなものである『西国三十三所名所図会』の中に描かれている荒神堂と茶屋の絵図です。右の建物が当時の荒神堂、左の建物が茶屋、左側に道を挟んだ松の木と思われる木の下に樋があり、水が流れ込んでいる石の升があるという状況が現在でも確認できるということで、そういった遺構を今回国の史跡という形で追加登録されることとなりました。何に登録されるかといいますと、熊野参詣道（伊勢路）という文化財です。その中で文化的価値が明らかになっており、所有権等がすべて明らかで、記録すべき状況がちゃんと残されているものが、国の文化財となっており、そこが世界遺産になっています。尾鷲の場合はこれまで馬越峠道、八鬼山峠道、三木峠・羽後峠道、曾根太郎坂次郎坂の4つが熊野参詣道（伊勢路）となっていました。ここに八鬼山荒神堂跡と茶屋跡が今回追加されます。現状ここは世界遺産にはなっていないんですが、今後三重県が県内で世界遺産追加登録候補をこれから増やしていくという動きがありますので、その際にはその候補として入っていく方向となっています。時期については全く不明なんですが、文化財を追加登録するに当たって権利関係を調べるとか時間がかかりますし、場合によっては地籍調査等が必要な場合も出てきますので、5年から10年くらいのスパンで三重県も考えていると思います。世界遺産登録30周年当たりが1つの区切りになるんじゃないかと思われそうですが、そこに向けて尾鷲市としてはこちらを追加登録できたということでございます。最後の資料は、「曾根の石、実はすごいんです！調べてわかった新発見！！」という講演会のチラシで、こちらは5月に新たに尾鷲市の文化財として登録した曾根石の石切り場の講演会です。先日の一紙文書の講演会も盛況でしたが、今回は石切り場の講演ということで、現地の曾根コミュニティーセンターで講演会を開催いたします。こちらの講師が現地を調べていただいた県教委の方や津市の担当の方、市の学芸員から説明させていただきます。本来ですと

現地まで行けるといいんですが、なかなか足場の悪いところですので、今回は座学になりますが、ドローン映像なども交えての講演となりますので、ご興味があればご参加いただければと思います。私からの説明は以上です。

教育長：生涯のほうから報告事項でした。何かご質問等ありましたらお願いします。二十歳のつどいはいつもワンパターンになってしまうということで、今までは実行委員だけが私たちと写真を撮っていたんですが、今回は全員で、ということになります。できたら教育委員の皆さんも出席いただければと思いますので、よろしくお願いします。よろしいでしょうか。では、事項書6のその他で何かありますか。なければ、次回の日程についてお願いします。

【日程調整】

教育長：では、次回は1月2日（火）午後1時からということでお願いします。これで第9回教育委員会を閉じます。ありがとうございました。

10時48分 閉会